草の根ニュース 95 号 2016 年 12 月 28 日（偶数月刊行）**米軍居座り 71 年を機に、日本国民県民の主権と誇り正当な民族意識目覚めを！**

「平和的で責任ある政府が樹立されたとき、連合国の**占領軍は、直ちに日本国から撤退**しなければならない」（ポツダム宣言　1945 年）。**「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのないようにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する」**（憲法前文）

〜 沖縄・日本から米軍基地をなくす草の根運動 〜

草の根ニュース

基地と戦争なくす憲法 9 条実現政府のために

■本部（東京）　：〒150-0042
東京都渋谷区宇田川町 19-5 山手マンション 1001
■電話・ファックス　: 03-3461-5758　090-4175-2010(平山基生)
■メール　: kusanone@world.ocn.ne.jp
■ホームページ　: http:// www.kusanone.org
■郵便振替口座: 00190-5-611535　沖縄・日本から米軍基地をなくす草の根運動
米軍基地をなくす全国の会結成促進支援カンパ 大歓迎！

かけがえのない高江・辺野古を守り、工事を阻止し、全基地撤去で米兵犯罪再発をなくしましょう！

2017 年！「基地なくす会」を全都道府県、全地区市区町村、職場学園地域に作り始めましょう

全基地閉鎖を掲げる日本沖縄で唯一の個人加盟団体
米軍基地をなくす草の根運動、15周年総会がよびかけ

「日本沖縄」の主権回復・憲法実現！

95 号　目次

草の根 2016 年総会。「基地なくす会」結成をよびかけ（P2）
草の根 2016 年総会開かる（P2）　詩　あ・け・み　読者の声（P3）
オスプレイ墜落　『地位協定入門』学習会へご参加を（P4）

『日米地位協定入門』著者、前泊教授が、普及レジメ作成に賛意

草の根運動平山基生共同代表は、11 月 10 日、『本当は憲法より大切な日米地位協定入門』（創元社）著編者前泊博盛教授を沖縄国際大学研究室に訪ね懇談。会議で、同書を毎回学習している時のレジメをパンフにし普及学習に役立てたいと提案、賛同を得ました。研究室からはオスプレイが見えて。

オスプレイ墜落、「A クラス」事故。翁長沖縄県知事の辺野古上告に、最高裁不当判決
基地建設強行の高江、1 月のことで 4 人逮捕
安倍政権の暴圧、凶暴性を加える

12 月 13 日、名護市安部の海岸に、垂直離発着機「空飛ぶ棺おけ」オスプレイが墜落。米軍司令官は、「住宅地を避けたことに沖縄県民は感謝すべき」と暴言。原因説明もなく 19 日飛行再開。沖縄県のみならず日本全国で怒りの声。12 月 20 日、最高裁は、翁長県知事の辺野古埋め立て取り消し違法判決。政府の代弁人に成り下がった最高裁判決に。あらゆる知事権限を行使して闘うと表明。安倍内閣は高江集落を囲むようにして、オスプレイの基地建設を 500 人の機動隊、自衛隊ヘリを引き続き投入強行し、県民国民の激しい抗議にあっています。

米軍基地なくす草の根運動、15周年総会開かる

「沖縄・日本から米軍基地をなくす草の根運動」は本年2016年創立15年を迎えました。

10月29日、草の根運動は2016年総会を、横浜の日本大通ホールで開きました。開会冒頭、三味線と尺八の伴奏で、「南部牛追い唄」（岩手県）「新相馬節」（福島県）は東北大震災をしのんで、「安里屋ユンタ」（沖縄県）は沖縄の基地闘争に連帯して、「五木の子守唄」（熊本県）は熊本大地震を思って、「黒田節」は皆が知っているので、参加者一同で歌いました。三味線は運営委員長代行の福地春喜さん、尺八は事務局員の江口あけみさんが演奏しました。

草の根運動2016年総会で講演する末浪靖司さん

つづいて、「憲法違反の米軍基地をなくすには」と題して、ジャーナリストで平和委員会常任理事の末浪靖司さんが、講演しました。

第1に「最高裁砂川判決をどうみるか」では、マッカーサー駐日大使と藤山外相、こともあろうに田中最高裁長官の密談で作られた事実を指摘。

第2に「最高裁砂川判決の弱点はどこにあるか」で、1950年3月3日、ハワード国務長官特別補佐官が、①侵略に対する制裁のための軍事基地は憲法の範囲内、②憲法で日本が保持しないのは、アメリカとの協定により保持される戦力ではない、という「理論」を考えた。この「理論」に最高裁は頼った。なぜこの「理論」に頼ったのか。それは、「近年の戦争はすべて国家防衛権の名において行われた」（吉田首相の1946年6月28日参議院本会議での野坂参三への答弁）や「戦争の手段となるものは、たとえ外国の軍隊や戦力でも、いっさい存在させない」（国際法学者横田喜三郎1950年2月15日『日本の講和問題』）が示すように、在日米軍は、違憲の戦力であるということが通説であったからです。

第3に「最高裁の弱点はどこにあるか」田中耕太郎最高裁長官が、対米戦争遂行の日独伊枢軸同盟に奉仕していたという、田中の経歴の弱点を米占領軍参謀第2部が調べ上げていたことからも来ています。

第4に「なぜ日本に米軍基地があるのか」では、日本政府が降伏文書に調印（1945年9月2日）、昭和天皇がマッカーサーを訪問（1945年9月27日をはじめとして、1951年4月15日まで11回訪問）、「日本を反共の防波堤に」（1948年1月6日ロイヤル陸軍長官）、「横須賀基地を無期限使用する」（1950年1月31日ブラッドレー統合参謀本部議長）、「日本全土が米国のための無制限の基地とみなされる」（1950年6月23日マッカーサー）などで見られるように、日本を守るためではなく米国のための基地だということです。

第5に「米軍は法令を守っているか」では、守っていない事例を列挙。

第6に「米軍は何のために駐留しているか」アメリカの戦略にとって「きわめて重要」（米統合参謀本部から国防長官への「機密覚書」、1950年8月22日）であるから。

総会会場からの質問の中には、「横須賀基地を無期限使用する」と統合参謀本部議長が発言していることは、基地をなくす運動をするうえで、非常に重要なことであり、米軍は、日本の永久占領を考えていると見るべきです、という意見もありました。

続いて議事に移り、議長を共同代表の小湊忍さん、平山知子さんがつとめました。

方針案と諸決議の提案を、平山基生共同代表が行いました。

「米軍が日本を守っている」というウソの宣伝で多くの日本国民が洗脳されている中で、15年間「米軍基地をなくす草の根運動」が継続してきたことをまず確認しました。そして、71年間の米軍の居座りに終止符を打つべきときに来ていること、そのためには、

高江、辺野古に新基地を作らせない闘いに焦点をあわせながら、「日本沖縄」の全都道府県、全地区市区町村、職場地域学園に「基地なくす会」をつくり、基地条約＝米軍居座り条約＝戦争条約であり、日本国民の安全を保障していない「安全保障」（「安保」）条約を条約10条によって終了通告する政府を作ることを目指さなければならないことが強調されました。この点を踏まえて国民への訴えも提案されました。総会は、一致してこの方針を承認しました。

会計報告、役員の確認、などの議事が行われました。

閉会後、近くにある、有名な、横浜中華街の鵬天閣で懇親会を開きました。

このように、草の根運動は、15周年2016年総会を機に新たな飛躍を目指して出発しました。

詩

ガラス窓

あ・け・み

四角いキャンバス
都会のビルのガラス窓

貯水槽
アンテナ
宣伝用の大きな看板
殺風景な屋上に囲まれ
明日は
取り壊しされるガラス窓

空のかなた
産湯のような雲に抱かれ
帰っていくのか
宇宙の懐に

読者の声　（2016年総会へのメッセージは、「総会決定集パンフレット」に掲載）

[redacted]さま（[redacted]県）

沖縄の闘いは吾が闘いと、月に一度の「青空ニュース」を配布しています。共に頑張りましょう。

[redacted]さま（[redacted]県[redacted]市）

毎年7/23にバザーを行っています。その売上金から少しカンパします。（心から感謝いたします。事務局）

全基地撤去へ向けて

運営委員会、「地位協定入門」

学習会　開かれる

全基地撤去へ向けて新たな決意を固めた2016年総会を受けて、米軍基地をなくす草の根運動は、11月16日（水）5時からと12月13日（火）2時から第1回と第2回運営委員会を開催。議題は、高江、辺野古の基地工事阻止、全基地閉鎖へ草の根運動をどう全国の会へ広げていくか、来年の総会

草の根運動、小冊子『米軍基地リスト―全基地撤去のために』と『2016年総会決定「基地なくす会」を作ろう』を発行

NGO米軍基地をなくす草の根運動は、2016年12月、小冊子『米軍基地リスト』と『2016年草の根運動総会決定』を発行し、全会員および基地をなくす政策を掲げる国会議員および政党とその地方組織へ送ることを決めました。

『基地リスト』は政府防衛省の恣意的資料操作による「米軍管理基地で自衛隊共同使用基地（地位協定第2条4項a基地）」無視の2分類法による「施設・区域別一覧」でなく、地位協定による3分類法を採用。日本国（「日本沖縄」）の主権を守るという観点から、「寸土」であっても外国軍が使用する土地は明らかにすべきであるという立場から編集されています。その意味で、防衛省「施設・区域一覧」統計の「自衛隊管理米軍基地（地位協定第2条4項b）」の恣意的な過小表記も是正しました。専用基地だけ、面積だけを、操作されている防衛省資料を根拠に宣伝することは基地をなくすうえで正確ではありません。詳しくは、国民県民の洗脳をねらった防衛省統計でない本邦初の基地冊子『基地リスト』を参照することが期待されます。

米軍オスプレイが墜落、大破

元米海兵隊員軍属が「日本沖縄」の 20 歳の女性をレイプ殺害遺棄した同じ年に

2016 年 12 月 13 日午後 9 時 30 分ごろ、米海兵隊普天間基地所属の垂直離着陸機 MV22 オスプレイが、名護市安部（あぶ）の沿岸から約 80 メートルの浅瀬に墜落し大破しました。在沖縄米軍トップのニコルソン司令官は、墜落でなく着水だ、と述べ、稲田防衛相、菅官房長官や全国紙、NHK などテレビ局も追随しました。翌 14 日に抗議に来た沖縄県副知事安慶田光男氏と会見した際、ニコルソン司令官は、「住宅上空を飛ばなかったことを感謝されるべきだ」「飛行士は英雄だ」と述べ、机をたたいて怒気を示した、と言われます。しかも、1 週間も経たぬ 19 日に、米軍は飛行を全面再開させました。オスプレイは、米国でも事故が多いため、「未亡人製造機」「空飛ぶ棺桶」と呼ばれています。空軍用のオスプレイは、横田基地など日本全国に配備され、千葉県木更津基地には、整備場も作るとされています。自衛隊も 20 基近く導入する計画を発表しています。オスプレイは、アメリカの軍部と企業の癒着（軍産複合体）の象徴のような飛行物体であり、一機 211 億円（諸経費込み）という高価なもの。YAHOO は「ぼったくりではない」という記事を載せて国民を欺くことに一役買っています。2017 年には、日本全国でこの危険な飛行物体が、日本の航空法も米本国の航空法も無視して飛び回る計画です。

最低の最高裁判決、翁長沖縄県知事の上告棄却、知事あらゆる手法で新基地阻止へ

憲法、地方自治法などを無視して、最高裁は政府の御用機関と化し、弁論も開かず、12 月 20 日、沖縄県の上告を退けました。政府は、埋め立て工事再開の構えです。沖縄県はあらゆる手段を使って阻止する構えです。

12 月 26 日、翁長知事は、埋め立て承認取り消しを取り消し。政府は工事再開の構え。

米軍沖縄北部訓練場部分返還引き換えに新基地提供で上陸訓練日数 5 倍化
知事、「返還式典」でなく抗議集会出席

12 月 22 日、米大使、米軍司令官、菅官房長官らが出席して行われました。しかし、沖縄県知事、名護市長は、式典が行われた名護市 21 世紀の森屋内運動場での「オスプレイ撤去を求める緊急抗議集会」（4200 人参加）に出席。

沖縄県 25 市町村議会が抗議決議　米海兵隊のＭＶ２２オスプレイが名護市安部（あぶ）に墜落した重大事故に対する抗議決議や意見書を可決した市町村議会が、12 月２３日までに４１市町村の過半数の２５市町村に上りました。

『地位協定入門』（前泊博盛編著）

学習会へどなたでもご参加ください

と　き　2017 年 1 月 28 日（土）2-3 時
ところ　草の根運動事務所（東京都渋谷区宇田川町 19-5　山手ﾏﾝｼｮﾝ 1001、☎090-4175-2010）
テキスト　『本当は憲法より大切な日米地位協定入門』（創元社）Q&A4「なぜ米軍ヘリの墜落現場を米兵が封鎖できるのですか？その法的根拠は何？」

編集後記　草の根運動会員や読者の皆様に、「草の根ニュース」別冊『米軍基地リスト』と『2016 年草の根運動総会決定』をお届けできることを、大きな喜びとするものです。８頁と 16 頁で合計 24 頁を編集制作することは大変な労力と費用がかかるものでした。草の根運動のような小さな団体の仕事としては誇りに思える本邦初で唯一の『米軍基地リスト』です。